

境港長期構想検討第4回委員会(書面開催)

委員意見・要望等への対応

整理番号	委員意見・要望等	資料修正有無	意見・要望等に対する事務局の対応
1	内港地区(大正町・栄町周辺)は、本市の中心市街地に隣接し、水木しげるロードは、境港市のまちづくり総合プランにおいても、観光資源の代表として定めておりますので、同地区の「施策の展開方向」及び「将来の空間利用」に、観光の振興に資する港湾施設の有効活用、と記載の追加をお願いします。	有	ご意見の趣旨に添い、資料P95、P106に継続的・持続的な取組として、「観光振興に資する港湾施設の有効活用」を追記しました。
2	P.73の図には「クルーズ」の表記が全くないので、「人流・賑わい」のところに「クルーズ誘致」、「クルーズ客への対応」を入れてはどうでしょうか。	有	ご意見の趣旨に添い、資料P71、P73に「クルーズ船誘致と受入体制の強化」を追記しました。
3	P54に2019年の実績が入ったので、P53、P83、P84の図にも2019年の実績を追加してはどうでしょうか。	有	ご意見の趣旨に添い、資料P53、P83に2019年の実績値を反映した上で、2019年実績に関する記述を追加しました。併せてP54も2019年に関する記述を追加しました。 P84については、2018年までと同じ(日本人・外国人別)2019年の統計データを把握していませんので資料への反映はできませんが、フリー客の旅客全体に占める割合は、2018年は約40%、2019年は約46%と2016年から2018年と同じく増加傾向でした。
4	港湾の発展は大変良いことです。 美保湾の豊かな生態系を維持する為にも、藻場育成環境の保全再生は重要と思いますので長期的に継続的に取り組んでいただきたいと考えています。	無	港湾の発展と藻場育成環境の保全再生等の両立を目指し、港湾行政を進めてまいります。 なお、令和2年度に予定している港湾計画の改訂にあたり、港湾に係る大気、水質、生態系等の環境現況調査(藻場含む)、及び環境影響調査を行うこととしています。
5	第4回委員会資料(資料1)の70ページ、<倉庫・保管機能の充実>に関して、米、単板等の保管場所の不足、低温、冷凍倉庫の不足、老朽化が記載されている。弊社は、県からの誘致により進出した港湾運送・倉庫業を営む一般企業であり、荷物保管能力に余力がある。公共上屋等を建設する場合には、事前に相談いただきたい。やみくもに、公共上屋等を建設されると、弊社から公共上屋等への貨物流出が懸念され、収支に悪影響を及ぼし、県から誘致を受けた企業としての存在価値を失う可能性がある。公共上屋等の整備に関しては、慎重に検討していただきたい。	無	公共上屋の整備等、港湾機能の拡張に係る整備を行う際は、関係機関、事業者の皆様との意見交換を行いながら検討を進めます。
6	計画を拝見すると、昭和南中野の2地区に、あまりにも多様な貨物が集中する(逆に、昭和北はスッキリ)、クルーズはこの地区から除外されたい。	無	外航船舶の大型化を踏まえると、今後、境港の貨物船受入はこの2地区が主力になると考えています。 クルーズ船については境夢みなとターミナル供用開始後は同地区での受入を基本としますが、一方で、背後圏域の観光産業等の成長のためにもクルーズ船の誘致も行う予定としており、大型クルーズ船を2隻同時に受け入れる場合等、昭和南地区、中野地区での受入ざるを得ないことも想定されますので、ご理解をお願いします。
7	コンテナの能力(故障)が問題になっているが、現状の30万トンの年々の貨物が2年後6万トン増加(20%増)しても、能力(倉庫・置場)は大丈夫であるか?	無	ご意見にある問題もあり、荷役機能強化のため令和2年度～4年度にかけて新規ガントリークレーンを整備し2基体制とする予定であり、ご指摘の増加を受け入れる能力はあるものと考えています。
8	米子バイオマス発電の輸入PKSチップは、年間26万トンになると考えられる。この貨物の荷おろし、占有面積、集塵公害、二オイ公害、トラック輸送(1日40～50車)、道路渋滞などの課題が多い。他の貨物との調整など港湾の処理能力に問題があるので、他地区にバイオマスは移築希望する。	無	米子バイオマス発電の燃料輸送船のうち木質ペレット輸送船については、6万DWT級の大型船となることから、別途、船舶の航行安全検討を行って昭和南地区で受け入れる予定です。 また、ご指摘のPKS輸送船は、当面は昭和北地区での受入を予定しています。 道路渋滞などの課題については、令和2年度に予定している港湾計画の改訂にあたり交通量の予測推計により課題を把握することとしており、必要に応じて対策を講じることとしています。
9	現在の世界的なコロナショックに際し、貿易物流の検疫、大型クルーズ船入国者の徹底的な検査を希望します。充実した港湾になることはリスクも伴うことを実感します。	無	国、県、市等の関係機関と緊密な連携をとり、感染対策を加味した受入マニュアルの整備を行う等、適切に対応してまいります。
10	長期構想により雇用も拡充すると考えられます。高校生、大学生などこれから就職する若手に境港定住の意識を周知する。	無	境港管理組合ホームページ等を通じて策定した長期構想を周知すると共に、『「みなと」と「ふね」の学習会』等の出前説明会など、港の役割、機能などの広報活動に努めます。
11	メディアに向けて情報発信して特集を組んでもらい広く一般の人に知らせる(企業誘致、起業促進につながる)	無	「境夢みなとターミナル」の供用開始など、あらゆる機会を捉えて情報発信を行ってまいります。
12	港湾周辺道路、幹線道路整備の強化による渋滞未然防止対策を必須のこととして、もっと明確に、協調して表現することも必要ではないか。	無	境港の発展には、米子-境港間の高速度道路の整備等の道路整備は重要施策であると認識しており、これまでの境港長期構想検討委員会でも議論され、資料に反映しているところです。 一方で、道路整備の推進は境港のみならず、各関係機関等が広域的に連携して取り組むべき課題であると認識しており、境港長期構想においては委員会での議論も経て現在の資料にある表現としているところですので、ご理解をお願いします。
13	客船とバルク船(貨物)の共通岸壁利用時に生じる、バルク船側滞船料、利接岸時の費用負担について、さらなる助成金枠拡充等により負担軽減を望む。	無	ご要望の内容については、客船のみならず新規の大型貨物船の入港時にも生じる課題であると認識しており、今後、関係者と意見交換を行う予定としておりますので、ご理解ご協力をお願いします。
14	境港長としては、港の発展のためには、船舶の入出港及び係留を含む航行安全の確保が非常に重要だと考えています。 今後進められる港湾計画改訂案の策定にあたっては、「港湾の施設の技術上の基準」に基づいた検討が成されるものと思いますが、加えて、想定されている大型船舶等の操船者を含む水域利用者の意見を十分に反映していただきますようお願いいたします。	無	港湾計画の改訂と並行して計画改訂に関する船舶の航行安全検討を行うこととしており、操船者等、水域利用者の意見をうかがうこととしています。 安全で安心な港湾利用のため、引き続きご協力をお願いします。